2018年度事業計画書(案)

2018年4月1日から2019年3月31日まで

特定非営利活動法人 あすなる会

1. 事業実施の方針

平成17年8月神栖市第一リサイクルプラザが稼働時、当時任意団体であった‘あすなる会’が受け皿になることを条件に知的障害者の採用が決まりました。翌年、信頼性を確保するため等から特定非営利活動法人格を取得しました。事業内容としては、4つの事業をかかげました。

1つは、**障害者に対する就労支援**です。今年で13年目を迎えることとなります。資源ごみの手選別作業に新たな気持ちで取り組み、行政や元請さんからの信頼をより高めたいと考えています。

2つ目は、**レスパイトサービス**です。親御さんからの要望で始めてから12年目となります。最近では放課後等デイサービス事業所等が増えたこともあり、当会の利用者は減少傾向にあります。しかし、支援学校卒業して障害福祉サービスを利用するようになった人が引き続き、当会のサービスを利用して頂いております。

3つ目は、**余暇活動の推進事業**です。今年も日帰り旅行を含め鹿島特別支援学校 PTA 神栖支部と行事を共催することになっており、広く参加を呼びかけたいと考えています。

4つ目は、**目標を達成するため必要な事業**です。ジャガイモやさつま芋を栽培して、**収穫祭を広報‘かみす’**で募集し、**市民の皆さんと交流させていただく**予定です。

当法人は、全日本手をつなぐ育成会同様会員の減少傾向にあります。世代交代を含め活動の活性化を進めていく予定です。また、障害者の高齢化・重度化や「親亡き後」を見据えつつ、障害児者の地域生活支援をさらに推進する観点から、‘地域生活支援拠点’の整備を平成29年度末までに、市町村または障害福祉圏域(鹿行地区)を基本として、支援拠点を少なくとも1カ所以上整備することになっていました。しかし、全国的にも未達成の市町村が多く改めて平成30年度末となりました。我が街でも神栖市地域自立支援協議会の場で検討する事になっています。

発達障害児者を持つ親の会として、**将来を見据えた計画になるよう**、会員皆様のご意見を反映させたいと考えています。

2. 事業実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び定人数	支出見込み額(千円)
1) 障害児者に対する就労支援事業	①就労者への支援事業	通年	プラザ	14名	11名	24,768
	②職場体験及び実習生の受け入れ	通年	プラザ	4名	延5名/年	①に含む
2) 障害児者に対する生活支援事業	①レスパイト事業	通年	あすなる集会所	9名	4.3名/日	1,669
3) 障害児者に対する生きがいくくり事業	①ボウリング大会	3回	鹿島ボウル	3名	25名/回	604
	②カラオケ大会	2回	むつみ荘	2名	35名/回	
	③日帰り研修旅行	1回	未定	6名	80名	
4) その他目的を達成するため必要な事業	①広報活動事業	1回/月		3名	不特定多数	165
	②定例会開催	1回/月		1名	不特定多数	
	③研修会参加	通年			不特定多数	
	④地元の人たちとの交流会開催(ジャガイモ及びさつま芋収穫祭)	各1回/年	農耕地	7名	不特定多数	